

社会福祉法人 宝塚いくせい会

令和4年度 事業計画書

本法人は平成24年の設立時より障害者総合支援法に基いた就労継続支援A型・B型事業、短期入所事業、宝塚市地域生活支援事業として日中一時預かり事業を実施し、知的障害者の支援に特化したサービスを提供しています。なお、法人設立時より運営していた短期入所事業所のうちENJOYハウス事業所は令和4年3月に閉所しました。

また、就労継続支援事業の就労活動として介護保険法における指定福祉用具の貸与や販売業務を実施し、数多くの利用者にサービスを提供することにより社会福祉に寄与しています。

今年度も引き続きサービスの提供を努める一方、サービスに対する需要の変化や法人に内在している諸課題について検討していく必要があります。

また、本法人が宝塚市より借用している宝塚育成事業所の建物施設が宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化事業の対象施設に含まれていることから、将来に向けた適切な対応を示し、新しい事業の構築を努めていくことが重要であります。

宝塚いくせい会は、今後とも職員一同、法人の基本理念に即した障害福祉サービスの提供に努めてまいります。

I 法人の基本理念

1 利用者の尊重

利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。

2 サービスの質の向上

利用者本位のサービスを実現するため、業務の標準化を図るとともに、サービスの質向上の鍵を握る職員のレベルアップを業務を通じて実現していきます。

3 地域との連携

地域との交流の促進を図り、安心と信頼で結ばれる社会福祉施設、事業の運営を目指します。

4 健全経営の実現

無駄をなくし、効率化に努め、健全な経営を確立します。

5 責任と権限の明確化

組織として事業活動を実践しているという原点に立ち、職員各自の組織上の役割、権限、責任を明確にして、組織一体となって業務遂行にあたります。

6 働きやすい職場環境

誇りをもって働きやすい法令遵守の職場環境づくりに努めます。

II 法人の経営計画と事業計画

1 短期計画

- (1) 短期入所事業は、前年度までは三箇所の施設（安倉ホーム、ENJOYハウス、来夢）で運営していましたが、利用契約者が伸び悩んでいることや、限られた職員を適切に配置する必要があることから「ENJOYハウス」の運営を令和3年度をもって終了することとしました。

今後とも短期入所事業や日中一時預かり事業が安定して運営できるよう、引き続き継続が可能な事業のあり方について研究する必要があります。

就労継続支援事業についても、サービスのあり方や事業規模について研究を進めます。

2 中長期計画

- (1) これまでの実施事業の枠組みにとらわれず、需要に応じた新たな障害福祉サービス事業の提供について、本法人の規模で実現可能な事業について研究します。
- (2) 「宝塚育成事業所」についても宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化事業の対象施設であることから、いずれ訪れるその時期に備え、事業所としてのあるべき姿について今から検討しておくことが重要です。

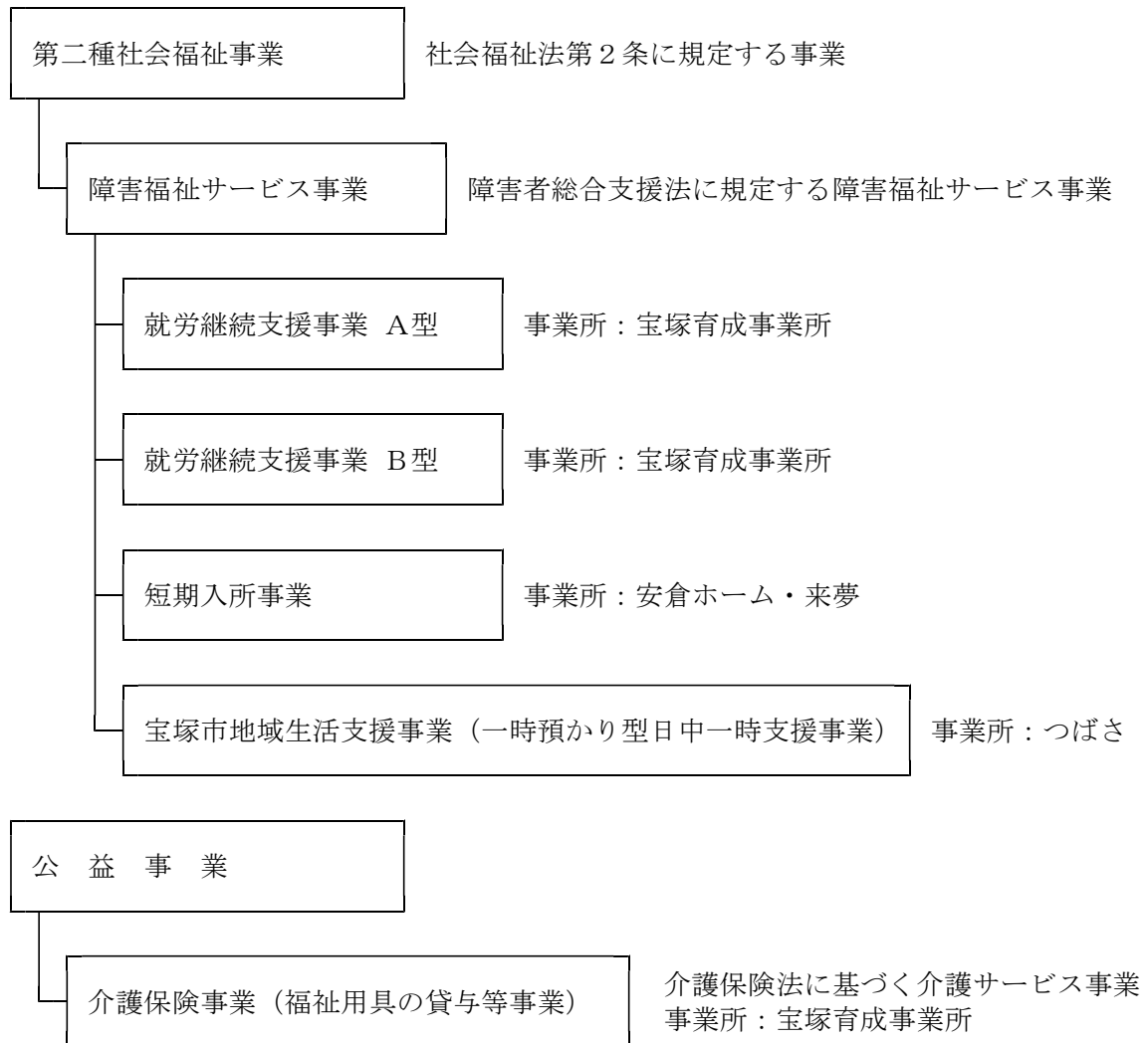
III 資金収支予算の状況

上段：令和4年度 / 下段：令和3年度

区 分	収 入	支 出	収支差引等
事業活動によるもの	241,520,000 円	252,680,000 円	△ 11,160,000 円
	253,110,000 円	247,320,000 円	5,790,000 円
施設整備等によるもの	0 円	600,000 円	△ 600,000 円
	0 円	300,000 円	△ 300,000 円
その他の活動によるもの	0 円	0 円	0 円
	0 円	0 円	0 円
計	241,520,000 円	253,280,000 円	△ 11,760,000 円
	253,110,000 円	247,620,000 円	5,490,000 円
前期末支払資金残高(予定額)			153,113,116 円
			147,623,116 円
当期末支払資金残高(予定額)			141,353,116 円
			151,113,116 円

IV 障害福祉サービス事業等の運営

法人が運営する事業の体系



1 宝塚育成事業所（多機能型就労継続支援A型・B型）

(1) 事業の概要

就労継続支援事業は、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じてその知識や能力の向上のために必要な訓練を行う事業で、雇用契約を締結して利用する「A型」と、雇用契約を結ばないで利用する「B型」の二種類があります。当法人が運営する事業所は、A型事業とB型事業を一体的に運営する、「多機能型」と位置付けられています。

① 定員及び利用者の状況

	令和4年度（計画）			
	定員	開設予定日	利用契約者数	年間延べ利用者見込数
就労継続支援A型	12人	240日	12人	2,880人
就労継続支援B型	15人	240日	15人	3,600人

② 訓練等給付費収入の予定額

	令和4年度（計画）	令和3年度	増減
就労継続支援A型	22,000,000円	21,100,000円	900,000円
就労継続支援B型	28,500,000円	26,400,000円	2,100,000円
計	50,500,000円	47,500,000円	3,000,000円

③ 就労支援事業の実施事業

【A型の実施事業】

- 介護保険適用福祉用具貸与事業（契約件数 516件(3月現在)）、福祉用具販売事業
- 宝塚市公園維持管理業務、市民病院植栽管理業務の受託（A・B間での作業分担の明確化）
- 福祉用具の消毒作業の受託（A・B間での作業分担の明確化）

【B型の実施事業】

- 介護保険適用外福祉用具貸与事業（契約件数 481件(3月現在)）、福祉用具販売事業
- 宝塚市公園維持管理業務、市民病院植栽管理業務の受託（A・B間での作業分担の明確化）
- 福祉用具の消毒作業の受託（A・B間での作業分担の明確化）
- 軽作業の受託事業
- 就労A型事業からの福祉用具消毒作業の受託

④ 就労支援事業収支の予定額

		令和4年度（計画）	令和3年度	増 減
A型	就労支援事業収入	84,450,000 円	83,100,000 円	1,350,000 円
	就労支援事業支出 （うち、賃金）	84,450,000 円 (13,800,000 円)	83,100,000 円 (13,400,000 円)	1,350,000 円 (400,000 円)
B型	就労支援事業収入	21,750,000 円	20,800,000 円	950,000 円
	就労支援事業支出 （うち、工賃）	21,750,000 円 (8,300,000 円)	20,800,000 円 (8,300,000 円)	950,000 円 (0 円)
就労支援事業収入合計		106,200,000 円	103,900,000 円	2,300,000 円
就労支援事業支出合計		106,200,000 円	103,900,000 円	2,300,000 円

⑤ 職員の状況

	令和4年度（計画）
配置人員	14 (4)
管理者	1 (他事業と兼務)
サービス管理者	1 (生活支援員兼務)
生活支援員	6 (2)
職業指導員	4 (1)
事務員	2 (1)

※（ ）は臨時職員数で、内数で表す。

(2) 収入の確保と利用者の対応について

就労支援事業のうち、A型事業については雇用契約に基づき、生産性を求めながら事業全体の牽引力として期待しています。また、B型事業の収入確保については、市内の障害者施設が連携して共同受注窓口を設置し、法人や組織の枠組を超えたつながりのなかで収入を確保していきます。

また、利用者の高齢化等の諸問題への対応については、障害分野と介護分野、医療分野と連携を図り、適切な対応に努めます。

2 安倉ホーム、来夢（単独型短期入所施設）

(1) 事業の概要

短期入所事業は、利用者が自宅の事情で介護することが困難な場合に、ショートステイとして入浴、排せつ、食事等の必要な介護（支援）を提供するサービスです。

短期入所事業の運営には、別の福祉サービスと一体で運営する「併設型」や「空床型」がありますが、当法人の事業所は、短期入所専用の「単独型」事業所で、昨年度までは三カ所の事業所で運営していましたが年度末に「ENJOYハウス」を閉所したことにより、令和4年度からは「安倉ホーム」は男性対象の施設として、「来夢」は女性対象として運営することとしました。

① 定員及等の状況

	令和4年度（計画）		
	定員	開設予定日	年間延べ利用者見込数／利用率
安倉ホーム	男性 8人	240日	1,300人 / 67.7%
来夢	女性 4人	240日	850人 / 88.5%
計	12人	—	2,150人 / 74.6%

② 介護給付費収入の予定額

	令和4年度（計画）	令和3年度	増減
安倉ホーム	26,000,000円	20,400,000円	5,600,000円
来夢	17,000,000円	14,600,000円	2,400,000円
ENJOYハウス	—	20,900,000円	△ 20,900,000円
計	43,000,000円	55,900,000円	△ 12,900,000円

③ 職員の状況

	令和4年度（計画）	
	安倉ホーム	来夢
配置人員	5 (3)	4 (2)
管理者兼生活支援員	1	1
生活支援員	2 (1)	1
調理員	1 (1)	2 (2)
添乗員	1 (1)	—

※ ()は臨時職員数で、内数で表す。

(2) 短期入所事業所のあり方について

サービスの提供を安定して継続できるように、事業運営のあり方を研究する必要があります。

3 つばさ&ミッキー（日中一時支援施設）

(1) 事業の概要

宝塚市の地域生活支援事業である日中の一時預かり事業で、平時は「つばさ」として、また、学校が休業となる春休み、夏休み、冬休みの期間中は「ミッキー」と称して運営しています。

① 定員及び利用者等の状況

	令和4年度（計画）			
	定員	開設予定日	延べ利用者見込数	延べ利用時間見込数
学齢児童（18歳未満）	15人	240日	290人	7,700時間
成人（18歳以上）			320人	7,000時間
計	15人	240日	610人	14,700時間

② 宝塚市受託事業収入の予定額

	令和4年度（計画）	令和3年度	増減
つばさ&ミッキー	29,500,000円	32,100,000円	△ 2,600,000円

③ 職員の状況

	令和4年度（計画）
配置人員	14（10）
管理者	1（他事業と兼務）
生活支援員	13（10）

※（ ）は臨時職員数の概数で、内数で表す。

(2) 今後の課題等について

サービスの提供を安定して継続できるように、事業運営のあり方を研究する必要があります。

V 職員に関する事項

1 職員の状況等

職員数

令和4年4月予定

区 分	男性職員	女性職員	計
正 職 員	7 人	8 人	15 人
嘱 託 職 員	3 人	2 人	5 人
臨 時 職 員	2 人	6 人	8 人
計	12 人	16 人	28 人

※ 臨時職員は雇用契約を締結している職員数です。

配属状況

令和4年4月予定

区 分	男性職員	女性職員	計
本部事務局	2 人	1 人	3 人
宝塚育成事業所	5 (2) 人	8 (2) 人	13 (4) 人
短期入所事業所	3 人	6 (4) 人	9 (4) 人
安倉ホーム	3 人	2 (2) 人	5 (2) 人
来 夢	－ 人	4 (2) 人	4 (2) 人
日中一時支援事業所	2 人	1 人	3 人
計	12 (2) 人	16 (6) 人	28 (8) 人

※ ()は臨時職員数で、内数で表す。

※ 雇用契約を締結していない日中一時支援事業所の臨時職員は省略。

2 職員体制の課題と取組み

- ① 宝塚育成事業所の生活支援員等の男女比率の問題や年齢構成の格差改善を図ります。
- ② 変則勤務職場である短期入所事業所や日中一時支援事業所の職員の確保がより容易にできるよう勤務体制のあり方を研究します。
- ③ 職員の高齢化が進むなか、「改正高年齢者雇用安定法」の枠組みのなかで高年齢者雇用のあり方について検討します。

3 職員研修の充実

- ① 職員の資質向上と、利用者の支援に有効な研修に参加できる環境づくりを目指します。
- ② 職員の支援力を高めるための研修を計画し、職員一人ひとりのスキルアップを目指します。
- ③ より適切な福祉サービスの提供が行えるよう、内部研修及び外部研修の充実を目指します。

VI 管理運営

1 理事会・評議員会等の運営

- ・ 定例理事会 （ 5月 ）
前年度事業報告及び決算報告
- ・ 定時評議員会 （ 6月 ）
前年度事業報告及び決算の承認
- ・ 定例理事会 （ 8、11、2月 ）
事業執行状況の報告等
- ・ 定例理事会 （ 3月 ）
次年度事業計画及び予算審議
- ・ 臨時理事会 （ 随時 ）

2 内部委員会等の運営

- ・ 運営委員会、業務評価・改善委員会を適切に開催します。

VII 財務管理

1 経営情報の把握と業務の効率化

今年度も引き続き税理士との顧問契約を継続し、適切な財務管理を行います。また、経営分析を通じて課題の把握とその改善策を明確にし、新たな事業の展開についてその方策を検討します。

2 情報の公開

法人情報については、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」により開示します。

www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/

VI 苦情対応

苦情対応については、苦情対応規程に基づき、迅速な対応を図ります。

Ⅷ リスク管理

- 1 日常的なヒヤリハットの発生については、その原因を分析し、その後のより大きな事故につながることを未然に防ぐための措置を実践し、職員間で情報を共有します。
- 2 発生した事故については、その時の状況や事故対応記録を確実にを行い、事故の再発防止のための方策を構築します。
- 3 リスクマネジメント研修を定期的実施し、日常のヒヤリハットの減少と安全で安心な利用者支援につながるよう努めます。
- 4 あらゆる事故の防止が利用者と職員の安全確保につながり、そのことが良質な福祉サービスの提供につながることを職員間で認識します。